

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】令和2年7月27日(2020.7.27)

【公開番号】特開2019-38192(P2019-38192A)

【公開日】平成31年3月14日(2019.3.14)

【年通号数】公開・登録公報2019-010

【出願番号】特願2017-162461(P2017-162461)

【国際特許分類】

B 2 9 C 64/40 (2017.01)

B 3 3 Y 70/00 (2020.01)

B 3 3 Y 10/00 (2015.01)

B 2 9 C 64/264 (2017.01)

B 2 9 C 64/112 (2017.01)

C 0 8 L 101/02 (2006.01)

C 0 8 K 3/22 (2006.01)

C 0 8 K 5/42 (2006.01)

【F I】

B 2 9 C 64/40

B 3 3 Y 70/00

B 3 3 Y 10/00

B 2 9 C 64/264

B 2 9 C 64/112

C 0 8 L 101/02

C 0 8 K 3/22

C 0 8 K 5/42

【手続補正書】

【提出日】令和2年6月12日(2020.6.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

サポート材及び造形材を有する三次元物体前駆体から前記サポート材を除去するための三次元物体前駆体処理剤組成物であって、

アルカリ金属水酸化物、アニオン性乳化剤、アニオン性高分子分散剤、及び水を含有する、三次元物体前駆体処理剤組成物。

【請求項2】

更に水溶性有機溶剤を、その含有量が10質量%未満であるように含有する、請求項1に記載の三次元物体前駆体処理剤組成物。

【請求項3】

造形材が紫外線硬化型アクリル系樹脂を含む、請求項の1又は2に記載の三次元物体前駆体処理剤組成物。

【請求項4】

三次元物体とサポート材とを含む三次元物体前駆体を得る造形工程、及び当該三次元物体前駆体を三次元物体前駆体処理剤組成物に接触させ、前記サポート材を除去するサポート材除去工程を有するインクジェット紫外線硬化方式による三次元物体の製造方法であつ

て、前記三次元物体前駆体処理剤組成物が、請求項1～3のいずれか1項に記載の三次元物体前駆体処理剤組成物である、三次元物体の製造方法。

【請求項5】

三次元物体が、紫外線硬化型アクリル系樹脂を含有する、請求項4に記載の三次元物体の製造方法。

【請求項6】

三次元物体とサポート材とを含む三次元物体前駆体を請求項1～3のいずれか1項に記載の三次元物体前駆体処理剤組成物に接触させ、前記サポート材を除去するサポート材除去方法。